



徳島市

徳島県美波町

藻藍部プロジェクト in 徳島県美波町日和佐

- アイゴの地場産品開発と藻場再生材開発 -

徳島県海部郡美波町は、2005 年から 13 年間で漁獲量が半減し、その原因の一つとして藻場減少（磯焼け）が挙げられます。食害の一つとなる食植生魚類であるアイゴの漁獲促進と商品開発および藻場再生材の海底設置による対策を講じています。

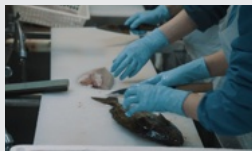
プロジェクトの特徴・PR ポイント

01 アイゴ漁獲の支援

美波町役場と協力し、アイゴの漁獲最低価格保証（食品利用）、漁具開発、制作、アイゴ取扱店の販売奨励金といった制度を開



水揚げされたアイゴ



アイゴの加工の様子

02 アイゴの漁獲と加工販売

アイゴを食べる食文化を活かしつつ、現代の食ニーズにあわせた食品開発を行うことで、アイゴの流通価値を高める全国初の取り組みです。



地元高校生とアイゴレシピの開発



アイゴのフィッシュカツ

03 藻場再生材海底設置

地元企業と協力し、廃菌床などの地元未利用資源を原料とした藻場再生材の開発。地元の小・中学生とともに制作・海底設置を行っています。



藻場再生材の開発



地元小・中学生と藻場増殖資材を制作

04 アイゴ釣り大会

アイゴ釣り文化の定着と情報発信を目的とし、徳島県を中心に釣りイベントを告知し実施。



釣り大会でアイゴを釣る様子



藻藍部 Youtube より

取得したクレジットで更なる藻場再生材開発や海底設置の活動費、藻礁等を利用した藻場再生活動、継続的な藻場モニタリング調査の推進に努めていきます。